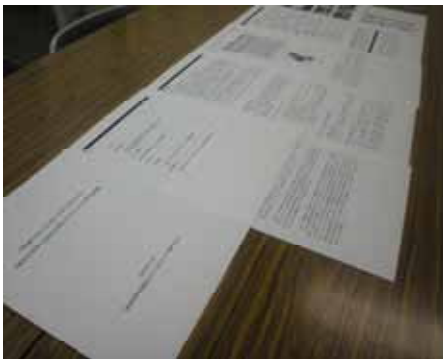




NEWS!  
2008.5月号

[発行] NPO 法人グリーンコンシューマー大阪ネットワーク 〒553-0006 大阪市福島区吉野 4-29-20 大阪 NPO プラザ119号  
郵便振替 00920-8-154437 年会費 1 口 2000 円(個人 1 口以上、学生半口以上、団体 3 口以上、賛助会員(会社)5 口以上)  
TEL & FAX: 06-6462-2775 携帯: 090-8989-5182(代表山口) <http://www.geocities.jp/gconosaka/> [gcon-osaka@onp.or.jp](mailto:gcon-osaka@onp.or.jp)

## 大阪市へ提言書の提出



当会は、古紙回収事業者である関西製紙原料協同組合と協定を結び、2006年1月に「紙ごみ『もったいないやんか』」プロジェクトを立ち上げました。大阪市立小・中・高等学校に校長会を通じ呼びかけたところ、現在、参加校は119校(全校数460校)で全体の約3割、2006年度(H18年度)の回収実績約94トン、2007年度(H19年度)は187.5トンと学校数は同じですが回収量が約2倍増えて、多くの種類の紙がリサイクルされていっている様子が数字で現れました。

提言1	計画的にやりなはれ 学校版 ISO14000 めざして
提言2	エコの勉強してや
提言3	みんなでやらにゃ 児童・生徒も参加を
提言4	置くとつくて 一定量が置ける場の確保を
提言5	やりっぱなしはあかんで 計画・実行・チェック等の実施
提言6	大阪市全体でも考えてや 返上、紙回収率ワースト1 地域もつながる資源もまわる紙回収 紙資源等による循環型リサイクルの技術開発の実践 によるビジネスチャンス

この2年間の取り組みをもとに、さらに紙資源を無駄にしないために大阪市へ提言をまとめ(3月に送付した総会資料を参照)、4月2日に大阪市長室を通じ教育委員会、環境局担当者と面談の上提出してきました。

なぜ取り組むこととなったのかこれまで一般廃棄物として焼却されていた副読本、図書、プリント等を製紙原料として回収し、リサイクルすることによって、少しでも循環型社会の形成に寄与し、二酸化炭素の排出量を抑制しようとするもの。さらに、大阪市の焼却ごみ処理経費1トン当たり10,541円で換算すると2007年度では200万円近く経費が削減され、大阪市にとっても焼却によるCO<sub>2</sub>量が減り、環境にも財布にも優しい活動となることを説明しました。

今後、環境に優しい大阪の街にしていくために、学校における紙の種類分別を生徒と共に実践し、さらに日常生活におけるグリーンコンシューマー(緑の消費者・環境に配慮した消費行動をする人)の育成の一助としても提言しました。